

# 20代が考える「男女共同参画社会」

いま「男女共同参画社会」のあり方に対し、さまざまな議論を呼んでいることを知っていますか？それは、「20代が考える男女共同参画社会が他の世代と比べて異質だ」ということです。

平成24年度に内閣府が実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」によると、若い年代ほど「男女平等だ」と答える割合が多く、女性の子育てと仕事の両立については、全体の47.5%が「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と答えたのに対し、20代は「女性は子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と答えた割合が36.1%とどの年代よりも高かったのです。

この結果が持つ意味とは一体何なのでしょう。

今回、20代は社会に対してどう思っているのか？「リアルな声」を聞くために緊急アンケートを実施。アンケート結果からみえる、日本の未来を背負う世代が考える「男女共同参画社会」について考えてみたいと思います。

## 男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと



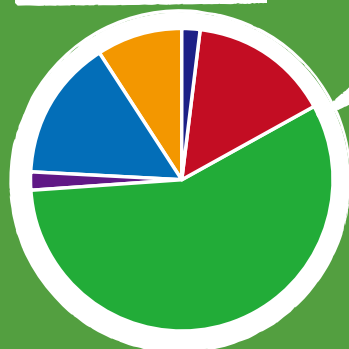
あなたは、社会や生活の中で、男女の地位は平等になっていると思いますか？

Q1

### アンケート結果

- ◆アンケートタイトル：わたしたちが考える男女共同参画社会
- ◆アンケート収集方法：SNS等を利用したインターネット集計（匿名）
- ◆有効回答者数：54名

### 学校教育の場で



- 男性が優遇 (2%)
- どちらかと言えば男性が優遇 (15%)
- 平等 (57%)
- 女性が優遇 (2%)
- どちらかと言えば女性が優遇 (15%)
- わからない (9%)

#### ●「平等」の意見

意識的に平等であるという教育を受けさせてもらったと感じる。/ 学校教育の場ではとくにどちらかが優遇されていると感じたことはない。男女差別してはいけないという教育をうけてきた。

#### ●「どちらかと言えば 男性が優遇」の意見

女性は得た分の学力が活かし切れないことが多いと感じるから。/ 教員も男子ほど熱を入れているように思う。

#### ●「どちらかと言えば 女性が優遇」の意見

修学旅行の時、宿泊が女子は良い部屋で男子は雑魚寝だったから。/ 女子の方が先生に優しく接してもらっている気がする。

#### ●「平等」の意見

女性より男性の方が勤務歴長い場合が多いから、上司に男性が多いのは当たり前だと思う。/ 職場で特に男女間の差別を感じることはない

#### ●「どちらかと言えば 男性が優遇」の意見

女性の就職活動や職場環境、育児をしながらの仕事復帰など、まだ平等とはいえない部分が多々ある気がする。/ 優遇というか、自分は建設業なので男性しかできない仕事が多い

#### ●「どちらかと言えば 女性が優遇」の意見

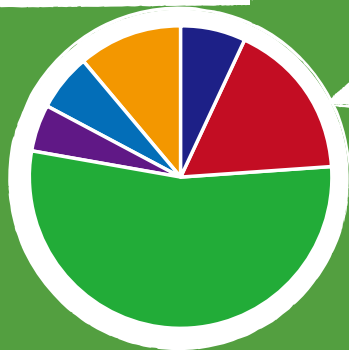
男性が子どもが熱を出したから早退をしたいと言うと早退できない。事務のおばさんは同じ理由でしょっちゅう早退をしている。

- 男性が優遇 (6%)
- どちらかと言えば男性が優遇 (50%)
- 平等 (26%)
- 女性が優遇 (4%)
- どちらかと言えば女性が優遇 (7%)
- わからない (7%)

### 職場で



### 家庭生活の場で



- 男性が優遇 (7%)
- どちらかと言えば男性が優遇 (17%)
- 平等 (54%)
- 女性が優遇 (5%)
- どちらかと言えば女性が優遇 (6%)
- わからない (11%)

#### ●「平等」の意見

社会の中で家庭の中で務めるべき役割を担うことで家庭そのものが維持していけると思う。/ 家族のなかで不平等を感じたことがない。

#### ●「どちらかと言えば 男性が優遇」の意見

「女性の働く社会」とは「女性がやるべき家事」という意識はなくなっていない。女性だけが両立を目指しており男性は標語だけを掲げているように感じる。/ 共働き世帯なので家事を分担している。けれど主体的に家事を行うのはやはり女性。/ 「長男が家を継ぐ」「苗字を夫側にする」といったことが大多数だから。

#### ●「どちらかと言えば 女性が優遇」の意見

家庭によって違うと思うけど、うちはお母さんの意見が絶対だから。

女性が職業を持つこと  
に関してどう  
お考えですか？

Q2

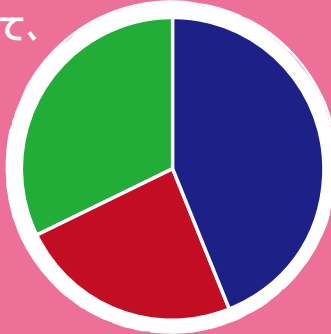


- 女性は職業を持たない方が良い (0%)
- 結婚するまで職業を持つ方が良い (13%)
- 子どもができるまでは職業を持つ方が良い (24%)
- 子どもができてもずっと職業を持つ方が良い (19%)
- 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方が良い (31%)
- 定年退職するまでずっと職業を持つ方が良い (9%)
- その他 (4%)

●「その他」の意見  
・人それぞれで良いと思う。  
・結婚しても、子どもができて、働かざるを得ない。

世の中で「男女差別」だと言われている  
あらゆる事項について、  
「差別ではなく区別」  
だと思う事項は  
ありますか？

Q3



- ある (44%)
- ない (24%)
- わからない (32%)

●「ある」の意見  
・あらゆる職業に対し「男女平等」を訴えている部分はおかしいと思う。男性向きの仕事、女性向きの仕事は必ずある。  
・管理職の数の議論など、希望者数とのマッチングができていないと感じる。  
・男性と女性では身体的に異なる部分がある。そこは差別ではなく区別として捉えていくべきなのではないかと思う。  
・何でもかんでも差別にしまうと、それこそ女性優遇社会になってしまう気がする。

わたしたちの理想の男女共同参画社会 ～こんな社会になれば良いな～

差別と区別を  
わける社会

生物学上男女の不向きは必ずあることなのでそこをきちんと踏まえた上で議論されていくと良い。/ やりたいことができる社会にはなるべきだけれど、いま推進されている「男女共同参画」は 0 か 100 みたいな極論で違和感がある。/ 体力の差や女性にしかない身体の問題などを考慮し、お互いに思いやりと尊敬の心を持った上で、個々の制度を整えたら平等な社会になると思う。また、そのためには男女とも残業を減らし体力ではなく知恵を絞った人口減少時代の新しい働き方を適用する社会にする事が必要だと考える。/ 男女で考え方も得意分野も違うと思うので完全な男女共同参画社会は実現不可能だと考える。しかし、たとえば女性は男性に比べて力が弱いので、男性が力仕事をするとか、女性は男性に比べて話すことが上手な傾向があるので、女性を受付の仕事をするようにするとか、そういった配慮をすることで、形式的には男女ともに同じ人間として、対等に社会に対して責任を持てるのではないかと、そう考える。/ 男女関係なく活動できることが望ましいけど、たとえば出産や子育てにあたり女性が優遇されるような措置が必要な場合もあるし、逆に男性を優遇したほうが良い場合もあるかもしれない。差別と捉えてすべて同じ線引きをするのは違うと思う。理想の男女共同参画社会とは、差別するしないではなく男女が互いを思いあって物事を進めていけるような社会であると思う。

個人の考えが  
尊重される社会

男女共同参画社会とは、男性、女性ともに個人の意思を尊重していく社会だと思う。ばりばり働きたい女性は管理職に、家庭を守りたい男性は主夫に。身体的な部分の違いはあるのでお互いがお互いの違いを知り良い部分をのびせるような社会であってほしい / 最近男性の意見がないがしろにされている気がする。それこそ差別だしどちらの意見も反映される社会になって欲しい / 一部の人の意見がまるでみんな主張している感じになっているのは嫌です。/ 今は女性の権利が主張されすぎて変なバランスになっていると思う。男性も権利を主張できるようになって欲しい。/ 女性の仕事継続がいろいろ言われているけど結婚したら辞めたい人もいると思うので、続けることを無理強いしたりするのはよくないと思う。

性別にとらわれない社会

性別に関係なく誰がどう生きようと、否定されることなく同じように生きられる社会になって欲しい。/ 性別にかかわらず、自由にできる社会になって欲しい。/ 男性の立場、女性の立場、入れ替えたとしても同じように社会が成り立つような関係性になれば良いと思う。

男女ともに子育てのしやすい社会

出産してもハーフタイムくらいで働ける女性の仕事環境。また、男性の帰宅時間を早くし、育児への参加をする。この2つの関係がうまくいけば、だれものキャリアがとぎれることがなくなるのではないかと思う。/ 女性の社会進出より、育児休暇の取得など男性の育児参加を進めた方が良いと思う。

スタッフ N (20代) のまとめ

20 代の考える「男女共同参画社会」のひとつの特徴として「身体や体力等の男女間の差を考慮しよう」というものがあります。確かにいくら同じようにしようと思っても、そこには必ず差が出てきますよね。その「差」を埋めるためにどちらかが犠牲になるのではなく、活かすことで、個々のやりたいこと、考え方を尊重することができ、お互いを補える関係性が築けていけるのではないのでしょうか。社会の構造をようやく分かり始めてきた年代でもあります。子どもたちのためにも、私たちの世代がしっかりと考えていかなければならない問題ですね。